

## はじめに

このたび、次代のむつ市を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりを総合的に推進することを目指し、「むつ市子育てプラン21（後期計画）」を策定いたしました。



このプランは、平成17年度から平成26年度までに少子化対策として取り組む施策の方向性や目標を定めた中の、前期計画（平成17年度から平成21年度）について必要な見直しを行い、平成22年度から平成26年度までの後期計画を定めたものです。

現在においても核家族化や少子化が進行する中、子育てに対する意識の多様化が進み、共働き家庭が一般化しつつある社会環境の中で、子どもを生き育てることに対する不安や負担感が増すなど、家族や地域社会の子育てに関する考え方が大きく変化しています。

このような状況下でも、私は、まちづくりの主役は市民であるとの原点の基、「子どもは地域の宝物」であり「宝は地域で守り育てる」と考え、市民が安心して子どもを生き育て、明日のむつ市を担う子どもたちがすくすく育つため、保健・医療・福祉、教育、雇用、住環境などの更なる充実を図り、この計画を推進してまいります。

終わりに、計画の見直しにあたりご尽力賜りましたむつ市次世代育成支援対策地域協議会委員の皆様、ニーズ調査やアンケートにご協力いただいた市民の皆様及び関係各位に心から感謝申し上げます次第であります。

平成22年3月

むつ市長 宮 下 順一郎